



HOKKAIDO UNIVERSITY

# AMBITIOUS LEADER'S PROGRAM

Fostering Future Leaders to Open New Frontiers in Materials Science

Ambitious 物質科学セミナー

ALP 科学技術コミュニケーション・リメディアル講習 追加指定

## 動物行動学が提案する次世代動物園

動物の“こころ”の理解とそれへの配慮

上野 吉一 氏

名古屋市東山動物園 企画官

一般社団法人アークラボ 理事



平成 29 年 7 月 11 日 (火) 16:30~17:30

北海道大学 理学部 本館 N308

プログラム外からの参加歓迎!

近年ますますヒト以外の動物においても、その認知世界すなわち“こころ”の理解が進んでいる。一般に相手を知ること、自ずと相手への気遣いへとつながる。すなわち動物の“こころ”の科学研究は、その理解と共に動物への何らかの配慮を私たち人間に求めてくることとなる。本講演では、動物に対する配慮をより踏まえ提案される新たな形式の動物園について、またそれが持つ文化、社会、そして教育における意義について紹介する。

講師紹介：1986年 北海道大学農学部卒業。1993年 同大学院文学研究科修了。1994年 京都大学より学位「博士（理学）」を取得。北海道大学実験生物センター助手、京都大学霊長類研究所附属人類進化モデル研究センター助教授（准教授）を経て、名古屋市東山動植物園 企画官へ転ずる。専門領域は、比較認知行動学、動物福祉学、動物園学。動物園を、見る側の視点のみならず、見られる側（動物）の視点にも立った施設作りや運営の観点から研究を進めている。著書は、『動物福祉の現在 - 動物とのより良い関係を築くために（共著、農林統計出版）』、『動物園のつくり方 - 入門 動物園学（分担翻訳、農林統計出版）』ほか。

連絡先：北海道大学大学院理学研究院化学部門 村越 敬

(Tel: 011-706-2704, Mail: kei@sci.hokudai.ac.jp)